

動き出す季節

植物や虫、海や森の生き物が動き始める春です。私も親が畑仕事をする事が出来なくなってきたので、去年から畑仕事の“真似事”を始めました。今年も先週、野菜の種をまき、苗を育て始めました。

ところで、持続可能な社会の実現に向けて世界中で取組が続いているSDGs。食品ロスについて考えることはSDGsの17項目すべてに関連しているそうです。以下17項目を載せています。

- | | | |
|-----------------------|----------------|------------------|
| 1: 貧困をなくそう | 2: 飢餓をゼロに | 3: すべての人に健康と福祉を |
| 4: 質の高い教育をみんなに | 5: ジェンダー平等の実現 | 6: 安全な水とトイレを世界中に |
| 7: エネルギーをみんなにそしてクリーンに | | 8: 働きがいも経済成長も |
| 9: 産業と技術革新の基盤をつくろう | | 10: 人や国の不平等をなくそう |
| 11: 住み続けられるまちづくりを | 12: つくる責任つかう責任 | 13: 気候変動に具体的な対策を |
| 14: 海の豊かさを守ろう | 15: 陸の豊かさを守ろう | 16: 平和と公正をすべての人に |
| 17: パートナリシップで目標を達成しよう | | |

私たちの使い捨て消費中心の生活様式や、自然災害の脅威、感染症の脅威、戦争(暴力)の脅威等が持続可能な社会の実現を困難にしています。だからこそ、自分が出来る身近なことを探し、1日の生活の中に取り入れてみたいと思います。3月に入って、朝起きてすぐに祈ることを始めました。皆さんも何か始めてみてはいかがでしょうか？

今年度、最後の行事でした

前号の学校だよりで最後のクラスマッチの話題の続きです。1年生はバスケットボール、2年生はバレーボールを行いました。まん延防止等重点措置が長く続き、体育的活動の制限が多かったので心配もしていましたが、両学年とも体育委員を中心に特別ルールを作る等の工夫した計画のおかげで大きなケガなく、楽しく行うことができました。緊張感あり、笑顔ありのクラスマッチでした。



(2年クラスマッチ)



(1年クラスマッチ)



また、2年生は人権・ボランティア委員会が中心となって3月22日(火)に人権集会を行いました。今年1年間、学んできたことをもとにして発表や意見交換を行いました。「最大の人権侵害、差別である戦争」「『まわりがやってくれ』でなく『自分がする』大切さ」「差別とは相手を知らないのに決めつけること」などの心に響く意見発表、交換ができました。

裏面には3年生(卒業生)のメッセージを載せています。



人権作文集「しらかわ」に載っている。3年生のメッセージを学校だより N043 で紹介していましたが、もうひとつの3年生からのメッセージをこの最終号で紹介します

祖母と私(抜粋)

私には活動的な祖母がいます。三十年前、特別支援学級の教諭だった祖母は、ベトナム戦争で撒かれた枯葉剤の影響で、障がい児が多いと言われていたベトナムを訪れました。そして祖母は「SVCA(ベトナムの子ども達を支援する会)」という組織を立ち上げ、毎年、ベトナムを訪れて活動しています。

小学四年生の時、初めてベトナムを訪れました。観光ではなく、SVCAの一員として活動するためです。「言葉が通じないのに気持ちが伝えられるか？」と飛行機の中で思いました。私は不安のまま活動に取り組みました。しかし、実際はジェスチャーで意思疎通はできました。生まれつき耳が不自由な人が多く、普段も手話やジェスチャー等で意思疎通をしていたそうです。

私は、大切なのは相手に伝えたいという気持ちなんだと気付きました。それから、積極的に活動するようになりました。一生懸命伝えると、相手も分かってくれて嬉しかったです。折り紙、鬼ごっこと日本文化も伝えました。現地の子どもの笑顔を見て、「役に立てた。」と誇らしい気持ちになりました。活動を続けたいと思い、これまで四回ベトナムを訪れています。

ベトナムを訪れて分かったことがあります。それは、文化、言語が異なっても、障がいがあっても、交流すれば分かり合えることです。関わる心、知る心が大切だと気付かされました。

それから私は少し変わりました。以前は学校行事やイベント参加に消極的でしたが、積極的に参加するようになりました。自分に不向きと思ったことにも、参加できるようになりました。そして、多くの人と交流し様々な経験を積むことで、コミュニケーションが身に付き、人と会話するのが楽しくなりました。

また、祖母は日本の母子健康手帳を、世界に広めていこうと国際母子手帳委員会の事務局長として世界中を飛び回っています。積極性に溢れる祖母を尊敬しています。以前「その行動力はどこから来るのか。」と聞いたとき、「弱い立場の人でも幸せでないと、社会や国は本当に豊かだとは言えない。だから私にできることをやっているんだよ。あなたも、どんな仕事でも良いから、人の役に立ち、誰かのためになるような仕事に就きなさい。」と言われました。これを聞き、人のために行動を起こすのが大事なんだと教わりました。

私の将来の夢は祖母のような人物になることです。祖母のように活動をして、世界中の人々が、自分らしい生き方を選べる世界を創りたいと思います。

※ 原文は人権作文集「しらかわ」に載っています。他にもたくさんのメッセージがありますので、ぜひ、春休みに読んでください。「明日からまた頑張ろう!」という気持ちが湧いてきます。

不安や悩みを話してみよう

年度末や年度始めは環境が大きく変化することもあり、不安や悩みを抱える子どもが増えます。文部科学省から届いたメッセージを別紙で配付しています。ぜひ、お子様と一緒にご一読されてください。ホームページにも載せています。